

市議会だより

No. 81

平成30年
9月
定例会



特集 **新たな取り組みで決算審査
～3度の決算準備会を開催～**

【写真】 昨年の凧山つばきの森の紅葉の様子です。池のほとりでは、これから紅葉が深まっていきます。

新たな取り組みで決算審査

8月30日から9月21日にかけて開催された9月定例会の中で、平成29年度の決算審査を行いました。今年度は、新たな取り組みとして分科会ごとに3度の決算準備会を開催し、決算審査に向けた準備をしました。その中では、意見交換会でいただいた意見や事業の重要性・緊急性などを基に、重点的に審査を行う事業を抽出したり、論点を整理・共有したうえで決算審査に臨みました。ここでは、具体的な審査の内容をお知らせします。

Q : 市議の質問 A : 市の回答

・ 総務生活分科会 ・

災害時の備蓄計画などについて

危機管理課

各学校にある備蓄倉庫に必要品を計画的に備蓄するものである。粉ミルク(81缶)の備蓄が大幅に不足しているが、災害時にどう対応するのか。

Q 災害に備え、備蓄計画が立てられている。その際、現在の粉ミルクなど、計画量より不足する場合、災害が発生した時にはどのように対応するのか。

A 災害時に避難所で不足する物資については、災害時における食品・食糧・生活必需品等の確保に関する協定を締結している市内販売店から確保する。



水無瀬中学校避難所防災備蓄倉庫 緊急用組立式簡易トイレ

地域力向上活動推進補助金のあり方について

まちづくり協働課

各地の地域力組織に対する補助金が、当初100万円(上限)が、現在85万円(上限)に減額され事業の縮小なども検討された。このような補助金のあり方について。

Q 地域力向上活動補助金の上限が減額されたことにより活動費を削っている団体もあることから、当初の補助費100万円を保つべきではないか。

A 地域力推進組織の自主、自立による活動をめざし、補助金のみに頼った活動ではなく、地域にある資源の積極的な活用や参加費の徴収など、自己財源の確保に努めるようお願いしている。

斎苑の空調設備の未執行について

生活安全課

空調施設の修繕が未執行となった。その原因と再発の防止について。

Q 平成29年度においても市の斎苑の空調施設の修繕が未執行であったが、今後どう対応されるか。

A 課の内部連携や点検指示などが上手くいかなかったことが原因であることから、現在は課内において報告体制を徹底し、チェック機能を高め、業務の執行において漏れないよう努めている。

・ 厚生文教分科会 ・

生活困窮者家庭の子どもに対し、貧困の連鎖を防止するための学習支援について 社会福祉課

社会福祉課とこども未来課との連携及び事業の目的は達成できたのか。

Q このたび社会福祉課とこども未来課と連携し推進しているが、現状はどうか。

A こども未来課と連携した結果、希望登録者数が定員を超え、待機者が若干発生している。

Q 福祉を前提とするならば、支援を必要とされる子ども達全てが受けられなければ、基本的に事業の目的達成ではないと考えるがどうか。

A 理想はそうだが、実際は経費などの問題もあり、福祉分野から考えると限界がある。可能な限り努力をする中で拡充していく。

小中一貫教育および小中一貫校整備について 教育政策課

教育プログラムを進める中での課題と、カリキュラムの提示について。

Q 施策の体系からも、学校の施設整備に合わせて教育内容のプログラムが非常に重要と認識しているがいかがか。

A モデル地区として子ども達のための教育環境をきちんと整備していく。それが最終的には我々が進める小中一貫教育にどう繋がるかという視点で事業を進めてきた。

Q 教育プログラムなどを進めていく中で課題は何か。

A 「瀬戸らしい教育」を具体的にどう進めるか、また、一貫教育においてモデル校は一体型、他は分離型のため、例として分離型では乗り入れ授業含め瀬戸らしい教育がどのようにできるかが今後の課題である。

Q 市民との意見交換会でも声が上がっているが、いつ頃までに保護者の方達に安心していただけるカリキュラムが示せるのか。

A 今年度小中一貫校のカリキュラムが編成される。それを基に平成31年度小中一貫校以外のカリキュラムを編成する。今年度末と来年度頭が大きな節目となる。

要介護者など(市民)が市内で安心して介護サービスを受けられるために 高齢者福祉課

地域包括ケアに必要な在宅サービスの開始や充実について。

Q 地域密着型サービスのなかでも「夜間対応型訪問介護」や「看護小規模多機能型居宅介護」は、本来必要なサービスだが提供するところが無い。地域密着型サービスを今後どのように充実させていくのか。

A 瀬戸市民が優先的にサービスを受けられるという利点があるため、本市としても推進していく必要はあるが、事業所の人員が確保できていないので推進されていない。全体的な介護職の処遇改善にあたることで、小規模多機能の機能が充実される。特に看護の面については、医療法人などに働きかけ早期に設置していただくよう努めていきたい。



▶ これら3項目については、市長に対し提言書を提出しました。内容は5ページをご覧ください。

・ 都市活力分科会 ・

文化財保護普及について

文化課

国指定の文化財の保全は大丈夫か。

Q 旧山繁商店は、保存活用計画において保存・活用の考え方を示しているが、30年度予算は軽微である。今後の保存スケジュールはどのようになっているのか。

A 保存活用計画では、保存の基準は定まっている。今後は、これに基づいた実際の基本設計、詳細設計へと事業としては移っていく予定であるが、現在のところいつからというのは定まっていない。

Q 今の状態で、文化財を保護できていると考えているのか。

A 国の登録文化財となっているが、損傷や老朽化が著しいため対策が早急に必要である。

この項目については、市長に対し提言書を提出しました。内容は5ページをご覧ください。

道の駅管理運営について

産業政策課

道の駅の赤字体質をどう改善するか。

Q 道の駅の経営は近年うまくいってないが、どのように立て直しを図っていくのか。

A 来店者、売り上げともに、25年度をピークに減少傾向である。原因をマンネリ化と情報発信不足と分析し、現在は月に1回経営者会議を実施し、問題点を早期に対処していくよう努めている。情報発信についてはホームページの更新やスマートフォン対応するように改善し、イベント情報などを発信しリピーターの減少に歯止めをかけたい。



道の駅 瀬戸しなの

ツクリテ支援について

ものづくり商業振興課

瀬戸市で活躍するツクリテをどう支援し育てていくのか。

Q 支援を受けた方が長期に瀬戸市に留まっているのか。また、流出の防止と支援の条件は。

A 支援制度を始めてまだ1年であり情報は少ないが、展示会をきっかけに販路をつかんで創業したツクリテもあり、効果があった。ツクリテセンターをスタートして1年だが、情報収集などのためツクリテ人材バンク登録者は100名を超え、空き工房の閲覧や補助金など支援制度を活用する方も増えている。市内で開業することを前提として支援している。

Q ツクリテ支援に関しては、陶器に特化した支援のほうがわかりやすいのではないかと。

A 陶芸、ガラス工芸を中心にもものづくりのまち瀬戸をアピールしていきたい。いろいろな素材、ジャンル方をコラボレーションすることで、付加価値が高まるので、一緒になって展示会等へ出ていきながら、陶器、ガラスの普及に努めていきたい。

決算審査の結果、以下の4項目について市長へ提言しました。

1 一般会計に関すること

(1)学習支援について

貧困の連鎖を防止することを目的とした学習支援は、支援を必要とされる全ての子どもたちが確実に支援を受けられるよう十分な仕組み作りを行い拡充するよう提言する。

(2)小中一貫校整備事業について

小中一貫校整備事業は、先進的な教育を実施することを目的とされるものである。しかし、その教育内容は未だ示されておらず、児童、生徒の保護者の中には不安を抱かれている方々も多くおられる。一刻も早く9カ年の教育プログラムを示すよう提言する。

(3)文化財保護普及について

第6次総合計画の施策体系の中で、地域資源を活かした「せとまちブランディング」の加速と観光振興の方針が示されているが、旧山繁商店の保存活用と周辺の面的整備は「せとまちブランディング」の核とすべき重点事業である。また文化財の保護に努めることは市の責務であり、平成31年度以降の事業着手に向け適切な予算措置を求める。

2 介護保険事業特別会計に関すること

(1)地域包括ケアの充実と在宅介護支援について

高齢者が、一人ひとり違う条件のもとで、その人らしい生活が実現するよう尊重し支援することが求められている。「夜間対応型訪問介護」や「看護小規模多機能型居宅介護」など地域包括ケアに必要な在宅サービスの開始及び、在宅介護を応援する「家族介護用品支給事業」の拡充を求める。



平成30年度瀬戸市一般会計補正予算(第4号)

総務生活分科会

企画費

Q 「政策推進」の委託料1800万円の用途は。

A 旧瀬戸サイトを新たな基幹産業創出につながる拠点としていく際の、尾張瀬戸駅周辺エリアにおける都市機能再編に向けた効果的な事業手法、民間活力の導入可能性について調査を行うもの。

厚生文教分科会

高齢者福祉費

Q 小規模介護施設でのスプリンクラーの設置が義務付けられ、その補助金が付けられたが、今回対象施設のほかにも未設置の施設はあるか。また未設置の場合でも事業は継続できるのか。

A 今回設置は1施設。把握する設置が必要な施設は2, 3施設ある。設置は速やかにということであるが、利用者がある中で、直ちに営業を中断せねばならないということではない。

都市活力分科会

文化費

Q 陶生病院の旧病棟取壊しにあたり、陶壁を一部保存することとしたが、その保存と活用法はどう考えているか。

A 同作品は陶壁文化発祥の地として文化的価値も高いものと判断した。当面瀬戸サイトに保管し、再利用、民間での活用など、利用法を早期に決定していきたい。

9月定例会議案等審議結果

議案番号	件名	採決結果
第64号議案	瀬戸市都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の制定について	可決(全会一致)
第65号議案	市道路線の認定について	可決(全会一致)
第66号議案	平成30年度瀬戸市一般会計補正予算(第4号)	可決(賛成多数)
第67号議案	平成30年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第68号議案	平成30年度瀬戸市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)
第69号議案	平成30年度瀬戸市一般会計補正予算(第5号)	可決(全会一致)
認定第1号	平成29年度瀬戸市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第2号	平成29年度瀬戸市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第3号	平成29年度瀬戸市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第4号	平成29年度瀬戸市春雨墓苑事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(全会一致)
認定第5号	平成29年度瀬戸市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第6号	平成29年度瀬戸市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定(賛成多数)
認定第7号	平成29年度瀬戸市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び認定(賛成多数)
同意第2号	瀬戸市教育委員会委員の任命について	同意(全会一致)
同意第3号	瀬戸市公平委員会委員の選任について	同意(全会一致)
同意第4号	瀬戸市監査委員の選任について	同意(全会一致)

各議員の議案に対する賛否の状況

【各議員の議案に対する賛否の状況】《上記議案のうち賛否の分れたもののみ記載》

議案番号	自民新政クラブ							せと 未来			ネットワーク せと		公明党 瀬戸市議団		日本共産党 瀬戸市議団		無党派 無会派							
	朝井賢次	高島淳	西本潤	水野良一	宮園伸仁	富田宗一	戸田由久	山田治義	三木雪実	馬嶋みゆき	高桑茂樹	白井淳	森英一	山田伸夫	柴田恵子	中川昌也	藤井篤保	池田信子	島原治美	長江秀幸	浅井寿美	原田学	伊藤藤二	石神栄治
第66号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
認定第2号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
認定第3号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
認定第5号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
認定第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○
認定第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○

【○】は賛成(同意)【×】は反対(不同意) 議員名は左より会派ごとの議席順に記載。

なお、長江公夫議員は議長職のため採決には加わりません。

一般質問

市の行政課題などについて15人の議員が考え方や内容を質問しました。質問を行った順に、一人ずつ紹介します。

Q : 市議の質問 A : 市の回答



自民新政クラブ
戸田 由久

市長の市政運営の評価と今後の方針について

Q 市長は聞くこと第一主義として、輪談会で市民の方々からいただいた意見を、どう市政に反映されたか。また、市民の満足度はどう把握され、これまでの市政運営を踏まえ、再び市政を担う意思はあるのか伺う。

A 輪談会でいただいた意見は、第6次瀬戸市総合計画の内容に反映させた。満足度については、「市長へのメッセージ」や地域の皆様とお会いする中で、一定の評価をいただいていると考える。また、今後も第6次瀬戸市総合計画の実現が、極めて重要な使命であると考え、今一度市政を担当させていただき決意をしている。
(政策推進課)



せと 未来
高桑 茂樹

ブロック塀の緊急調査について

Q 建築基準法不適合となった14施設の他にも危険と思われる構造物はないのか、調査の結果を伺う。公共施設以外のブロック塀の所有者等への注意喚起について、どのように周知しているのか伺う。

A 大規模地震発生時に影響が想定されるブロック塀以外の構築物としてコンクリート製の板塀や、コンクリートブロック造の建築物などがある。これらの構築物については、施設の状況などを踏まえ、安全対策が必要な場合は施設管理者が措置を講じる。注意喚起については、市ホームページと広報せと8月1日号にて、安全点検実施のお願いを周知している。
(都市計画課)



せと 未来
馬嶋 みゆき

子どもの食物アレルギーに関する啓発・周知について

Q 食物アレルギーは乳幼児に有病率が高く、ショック症状を起こせば危険な状態となる。またアレルギーを食べなければ良いというだけでなく、触れる・舐める・吸い込むなどしても発症する可能性がある。混乱する災害時や日常の場面での事故を防ぐため、広く一般の方々にも知っていただくため啓発に取り組むべきと考えるが見解を伺う。

A より多くの方が、子どもの食物アレルギーに関する情報を得ることは、子どもの安全安心に繋がる効果も期待できる。啓発方法については瀬戸市広報やHPの活用をはじめ、効果的な取り組みを検討したい。
(健康課)



公明党
瀬戸市議団
長江 秀幸

学校給食費の徴収状況について

Q 文部科学省は、各学校の給食費を市町村の一般会計に移して教育委員会職員らが未納者への対応などを行えば教員の負担が減ると考えているが、本市はどのように考えるのか伺う。

A 市として督促、児童手当からの支払勧奨、就学援助制度の周知の徹底を図るなど徴収強化に努めており、教職員の負担軽減を図っている。今回の文部科学省による調査結果から、全国的に公会計化されているのは約4割であり、これから実施される給食費徴収・管理業務の動向を注視しながら、教職員の負担軽減に努めることとする。
(学校教育課)

本市における郊外型住宅地の維持管理について

自民新政クラブ
高島 淳

Q 昭和40年代後半から50年代にかけて瀬戸市では郊外型住宅地が多く開発されてきた。しかし、現在では、地域内の市道は補修が多く高齢者が安心して歩ける地域の市道が求められる。市道についてはどのように維持管理をしていくのか伺う。

A 郊外型住宅地における舗装等のインフラの維持管理については、瀬戸市公共施設等総合管理計画に基づいた舗装修繕を実施している。これに該当しない路線については、状況に応じた修繕を行う。引き続き財源を有効に活用し最大限の効果を上げるようインフラの維持管理に努める。
(維持管理課)

高齢社会を迎えホームページを使いやすくする取り組みについて

無会派
石神 栄治

Q デジタル情報であるホームページは、わかりやすさ、使いやすさなど、ホームページにアクセスした市民全体の満足度を上げることが重要と考えるが、現在の取り組みと具体的な事業効果について伺う。

A 子育てを応援するサイト「せとっ子ネット」をリニューアルし、3ヶ月で3000件以上のアクセスがあった。そのほかにも瀬戸に住みたい方への情報サイト「せとで住もまい!」や市内の地域同士が情報共有する拠点「瀬戸発!まるっと地域力」など、ユーザーが情報を得やすい工夫に取り組んでいる。

(情報政策課)

高齢者支援の充実について

公明党
瀬戸市議団
島原 治美

Q 能力や経験を活かした仕事ができ、それに見合った報酬を得ることができる雇用の場づくりやシルバー人材センターの事業内容の拡充など、さらなる活性化も必要と考える。また、認知症高齢者やその家族を対象とした取り組みとして、緊急時の連絡先やかかりつけ医など、希望する生活のあり方などを書き留めておくことのできるパンフレットを作成してはどうか伺う。

A シルバー人材センターと協働し運営方法の見直しや事業内容の拡充について検討・実行する。また、本人の希望などを事前に記すことのできる「認知症ケアパス」を作成し配布する。

(高齢者福祉課)

新しい時代のお墓のニーズに対応した「合葬式墓地整備」について

公明党
瀬戸市議団
池田 信子

Q 新規墓地区画販売数の減少に加え、墓地返還(墓じまい)による返還数が上回っている状況があり、こうした供養方法に関する市民ニーズの変化や多様性に対する認識を伺う。また、本市においても「合葬式墓地整備」の導入に向けた検討を始めてはどうか。

A 納骨堂や樹木葬等の供養方法に対するニーズの高まりは認識しているが、従来からの墓地の需要も依然としてあるものと考えている。他市町の情勢にも注視していく。現時点で春雨墓苑を整備する予定はないが、今後整備をする機会があれば、合葬式墓地等の形態も含めた検討をしていく。

(生活安全課)

コミュニティバスの今後について

自民新政クラブ
朝井 賢次

Q 今後コミュニティバスをより地域住民に寄り添った事業にしていくためには、自治会や地域力等が運行を主体的に行い、行政が安全性や公正性を担保するためのバックアップをしていくことが重要と考える。「地域による地域住民のためのバス」を地域毎に運営していくことが財政面や地域活性化のために必要となっていくと考えるが見解を伺う。

A 菱野団地住民バスの運行は、市民との協働の取り組みとして他地域のモデルとなると考えている。今回の住民バスのランニングコストは年間約370万円と試算しており、これまでの半分以下の市負担となる。(都市計画課)

通学路安全対策の確認と自転車走行環境の整備について

自民新政クラブ
富田 宗一

Q 自転車対策の取り組みについて自転車利用者の交通ルール順守とマナーの向上を図り、自転車に起因する事故の未然防止や歩行者が安心して通行できる環境づくりに取り組んでいくために、「瀬戸市自転車の安全利用に関する条例」を制定すべきと思うがどうか。

A 現時点では「自転車の安全利用に関する条例」を設置する予定はないが、自転車利用者の交通ルール順守とマナーの向上が自転車事故の防止には不可欠であることから、引き続き啓発活動を実施したいと考えている。

(生活安全課)

小中一貫教育の開始および小中一貫校の開校に向けた準備について

日本共産党
瀬戸市議団
浅井 寿美

Q 現在検討されている「にじの丘学園」の通学について、路線バスを利用する場合、利用者の負担は無料も含めて検討するのか。境界地域などへの配慮から、通う学校を選択できる特定区域が指定されている。バス通学を選んでも1時間近い通学時間となり、有料ともなれば、転入人口にも影響する地域があると思うが、これらを含め特定地域を増やすべきではないか。

A 無料、有料も含めて、どのように持続可能な制度設計をしていくかが肝要と考える。隣接学校選択制廃止の目的から、特定区域を増やす考えはない。

(教育政策課)

将来を担う子どもたちのために切磋琢磨の「場」を提供できないか

自民新政クラブ
三木 雪実

Q 将棋の藤井聡太七段の活躍を機に、瀬戸市の児童生徒によるスポーツ、文化両面での活躍がクローズアップされる頻度が高まってきた。このような児童生徒の将来性を大きく広げるために、各分野で自身の可能性に気づき、多くの仲間と切磋琢磨できる「場」を提供することはできないか。

A 子どもたちの可能性を伸ばすための機会を創出し、環境を整えていくことは意義あることと考えている。市では「将来を見据えた教育の実施」を掲げており、学習環境の整備に取り組み、将来社会に対応した人材育成施策を展開していく。

(教育政策課、政策推進課)

Q : 市議の質問 A : 市の回答

本当に小中学校エアコン設置の前倒しをするのか



せと 未来
臼井 淳

Q 平成32年度までに小中学校全教室にエアコン設置することを発表した
が、約15億円の予算額及び老朽化対策
による約90億円の更新費の詳細説明
を求める。平成32年度までに全教室に
エアコン設置することを目標としている
が、2ヵ年間で設置することは不安要素
があって難しいと思うがどうか。

A 1教室約250万円の600教室程度
の設置を見込んでおり、現時点での学
校老朽化対策については1校当り年間
約3億円の3校改修を見込んでいる。平
成32年度までの目標で設計や事務作
業を既に行っており、今後も万全の体制
を整え事業の確実な遂行に努めてい
く。(教育政策課)

地域活性化を促す公契約条例の制定について



ネットワークせと
中川 昌也

Q 愛知県は平成28年4月に公契約条例
を制定されているが、瀬戸市はどのような
考えか伺う。また、連合愛知尾張東地域協
議会からも数年に渡り、公契約条例制定の
要望が出されているが、まずは検討会を設
置し、検討を始められることを望むが、市長
の考えを伺う。

A 「総合評価落札制度」や「最低制
限価格制度」の有効性は、本市でも
十分認識しており、以前から要領を
定め、制度運用に取り組んでいる。ま
た、公契約条例制定については、入
札制度検討委員会の中で、検討して
いく。(行政課)

地域産業振興をどのように充実させるのか



日本共産党
瀬戸市議団
原田 学

Q 以前からこのままいけば、原型師や
鋳込み職人など、焼き物の専門家が不
足すると言われている。数年前から鋳込
み職人を育成するための事業が実施さ
れてきたが、不足する専門家を育成す
ための抜本的な方策をとるべきと考え
るがどうか。

A 技術・伝統の継承が課題であると
捉えており、各種技術講習会や、鋳込み
職人を始めとする幅広い分野における
技術者の育成など、現場に必要とされる
技術保存事業や人材育成事業を産業界
と連携して実施しているところである。
(ものづくり商業振興課)

議員研修会を行いました

8月9日(木)、財政学・地方財政論のスペシャリスト関西学院大学大学院、経済学研究科、人間福祉学部教授の小西砂千夫先生を講師に迎え、議員研修会を行いました。1部では「決算審査のポイント」について、2部では「事業単位での審査ポイント」について、「法人税収入が多い市町ほど、経済的なダメージがあった場合は、税収が落ち込む率が高い」など、決算審査のどの部分に焦点を当てていくべきかを伺いました。

今後もこのような研修会を積極的に開催し、市の財政運営や事業の課題について、各議員が一步踏み込んだ議論・質疑を行えるよう、努めてまいります。



小西教授による講演の様子

意見交換会の開催結果

7月19日(木)～8月2日(木)の期間に、8中学校区で意見交換会を開催しました。今回は延べ187人の市民の方々にご参加いただき、グループワークをしながらご意見をお聞きしました。

皆さんからいただいたご意見は、集約をして3つの常任委員会と議会運営委員会へ割り振り、重要性や緊急性などを考慮したうえで、委員会として取り組んでいく課題を設定します。



中学校区別の主なご意見

水無瀬中学校区

- 陶原連区自治連合会・長根連区自治協議会
- 地震や集中豪雨などに対する対策が遅れており、地区別の防災計画の立案が必要である。
 - 長根連区のコミュニティバスがない。

本山中学校区

- 道泉連区自治連合会・深川連区自治会
- 老人クラブの補助金支給対象人数(30人)は無理が多い。不公平感も感じる。
 - 道泉小、深川小、本山中の跡地利用についての説明を詳しくして欲しい。

祖東中学校区

- 古瀬戸自治連合会・東明連区自治連合会・祖母懐連区自治会
- 小中一貫校建設工事に伴い、搬入道路の整備はどのようにするのか。
 - 将来的に東部地区を開発して、発展させて人口を増やすことを考えないと、小中一貫校の児童生徒は増えていかない。

品野中学校区

- 品野連自治会・下品野連区自治会
- 太陽光発電施設設置区域内は、以前から整備がされていないので、管理体制を整えるべきではないか。
 - 現在の避難所は、水野川が氾濫したら水害にあう場所にある。

水野中学校区

- 水野連区連自治会・西陵連区連自治会
- エアコンの早期設置(カンパしたらどうか)。スケジュールを明確にして推進して欲しい。
 - 北みずの坂の校区が変わって困っている。

幡山中学校区

- 山口連区自治会・本地連区自治会・菱野連区自治会・新郷連区自治会
- 自治会活動をする人が減っていくばかりで、若者は関心が薄いので、有償化も必要ではないか。
 - 人口を増やすためには、働く場所が必要である。

南山中学校区

- 効範連区自治協議会・水南連区自治会
- 卒業式の前日も生徒が雨漏りの掃除をしていた。いっこうに改善されない。
 - 自主防災リーダーも高齢化でできない。

光陵中学校区

- 八幡台自治会・原山台連自治会・萩山台連自治協議会
- 菱野センタービル付近の再開発が進まない。
 - 菱野団地全体の再開発が必要。

○各中学校区でのご意見について取り組んだ内容は、12月定例会後の意見交換会で報告を行う予定です。

議会だより表紙写真を募集しています

議会だよりでは、皆さんから表紙写真を募集しています。瀬戸の新たな魅力が伝わるような写真を、ぜひご応募ください。なお、写真は瀬戸市内で撮影された風景写真に限られます。応募方法や注意事項については、瀬戸市議会ホームページから応募要領をご覧ください。議会事務局までお問い合わせください。あなたの写真が表紙を飾るかもしれません！たくさんのご応募をお待ちしております。

12月定例会開催予定

- 11月28日(水) 本会議(開会・議案上程・説明)
- 12月3日(月) 本会議(一般質問)
- 12月4日(火) 本会議(一般質問)
- 12月5日(水) 本会議(一般質問・議案質疑・委員会付託)
終了後 予算決算委員会
- 12月6日(木) 総務生活委員会
終了後 予算決算委員会 総務生活分科会
- 12月7日(金) 厚生文教委員会
終了後 予算決算委員会 厚生文教分科会
- 12月10日(月) 都市活力委員会
終了後 予算決算委員会 都市活力分科会
- 12月12日(水) 予算決算委員会
終了後 議会運営委員会
- 12月14日(金) 議会運営委員会
- 12月17日(月) 本会議
(委員長報告・討論・議案採決・閉会)

※いずれも、午前10時からの開催予定ですが、日程が、変更される場合がありますのでご確認ください。
 ※議会の様子は、瀬戸市議会のホームページからインターネット中継で閲覧いただくことができます。
 ※請願・陳情の提出締切日は、11月15日(木)の午後5時です。

瀬戸市議会の情報番組のお知らせ

瀬戸市議会では、以下の番組において議会情報をお知らせしております。

 **グリーンシティケーブルテレビ**
『こんにちは！瀬戸市議会です』
 (地上デジタル121ch)

12月定例会放送予定

1月7日(月)から1月13日(日)まで

放送時間

(7:25～、9:25～、12:25～、18:25～、20:25～、
22:25～ 土・日のみ7:25→14:25となります。)

『12月定例会 一般質問録画放送』

※詳しくはグリーンシティケーブルテレビから配布される番組表をご覧ください。

 **RADIO SANQ**
『せとまちラジオ』(FM 84.5MHz)

12月定例会放送予定

11月27日(火)

12月25日(火)

放送時間

(9:20～、12:00～、
18:00～)



編集
後記

今号の「議会だより」は、予算決算委員会の審査の内容や議会基本条例に基づいた活動の一環として、中学校区別に実施された市民の皆さまとの意見交換会結果報告などを

掲載しました。皆さまからいただいた貴重なご意見を参考に、施策につなげられるよう、今後とも開かれた議会およびわかりやすい議会を目指します。



議会だよりに関するご意見などについては、下記の問い合わせ先までお寄せください。

問い合わせ先 議会事務局 議事課 ☎88・2740 E-mail giji@city.seto.lg.jp